

第3章 7つのプロジェクト

01 群馬の特色ある文化の活用と発信

02 東国文化の魅力発信

03 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の保存と活用

04 県民芸術祭の充実と展開

05 県立文化施設等の発信力強化

06 文化を活かした地域づくり

07 文化活動における多様な参画の促進

01 群馬の特色ある文化の活用と発信

群馬県には、全国に誇れる本県特有の文化があります。
県民の郷土への誇りと愛着を育むこれら「群馬の宝」の魅力をいっそう磨きあげ、さらなる発展につなげるための活用と発信に取り組みます。

群馬交響楽団の活用と発信

群馬交響楽団は、「高崎市民オーケストラ」を前身として昭和20年に創設された、日本初のプロの地方楽団です。

市民の力によって生まれ、愛されてきた群馬交響楽団が、「オーケストラをもっと身近に」を合い言葉に今後も安定した活動の続け、県内外に優れた音楽の感動を届けられるよう支援していきます。

また、昭和22年から延べ630万人以上の子どもたちに鑑賞機会を提供してきた移動音楽教室を今後も継続して実施していくほか、トップクラスの地方オーケストラとしてレベルアップしていきます。

〔主な取組〕

- 移動音楽教室・高校音楽教室の実施
- 定期演奏会の開催
- 県外公演拡充を通じた文化交流の促進
- 群馬県戦略的文化芸術創造事業



オペラ「蝶々夫人」
(70周年記念事業)



移動音楽教室

「上毛かるた」の活用と発信

「上毛かるた」は、昭和22年の誕生以来、累計148万部(H29.11時点)を発行してきた、日本一の郷土かるたです。

昭和23年から毎年開催されている競技県大会には多くの子どもたちが参加しており、「上毛かるた」に込められた先人たちの思いは、ふるさとへの愛着の象徴として大人になっても心に刻まれています。

県では、競技県大会の支援に加えて、副読本の発行を通じた子どもたちの郷土学習支援に取り組んでいるほか、企業広告等での利用促進を図ることで、県内外にふるさと群馬の魅力を発信していきます。

〔主な取組〕

- 上毛かるたの発行
- 副読本等関連書籍の発行と活用
- 上毛かるた競技県大会の支援
- 上毛かるたの活用(利用許諾)



上毛かるた「副読本」



上毛かるた 競技県大会

目標・指標

	平成28年度実績	平成31年度	平成34年度
■ 定期演奏会平均入場者数（群馬交響楽団）	1,529人 ⇒	1,500人 ⇒	1,700人
■ 上毛かるた利用許諾件数	93件 ⇒	- ⇒	150件

群馬の食文化の活用と発信

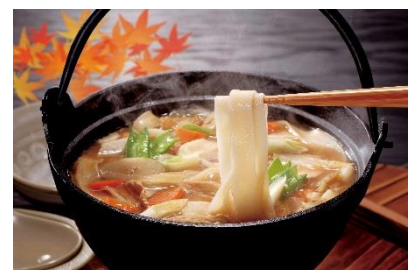
平成26年に県の無形民俗文化財（記録選択）に選択された「オキリコミ」（おっきりこみ）は、本県の粉食文化を代表する郷土食として、県民に親しまれています。

また、すべての食材を県内産でまかなえる「すき焼き」には、豊かな大地の恵みにあふれた群馬県の魅力が凝縮しています。

県民の生活と切り離せない「食」にまつわる文化の発信を通じて、本県ブランドの創出を目指し、多彩な食文化で県内外の人々を魅了します。

〔主な取組〕

- 群馬県おっきりこみプロジェクト
- 「群馬の粉食文化・オキリコミ」調査報告書の活用
- 群馬県すき焼きプロジェクト



おっきりこみ



すき焼き

群馬の温泉文化の活用と発信

本県は、草津、伊香保、水上、四万をはじめ、200か所を超える温泉地に恵まれた全国屈指の「温泉大国」です。

平成29年には「草津温泉の湯畑」が国の名勝に指定され、本県の温泉文化や独自の景観が高く評価されました。

古くから受け継がれてきた湯治の歴史や湯の町ならではの祭りや情緒、訪れる人々を迎える「おもてなしの心」など、温泉文化を魅力的な観光資源として活用を図るとともに、日本独自の無形文化遺産としても、その価値を発信していきます。

〔主な取組〕

- 温泉、まちあるきなど魅力的な観光資源の周遊促進
- 群馬県温泉アドバイザー養成事業
- 県立文化施設での企画展示



国指定名勝「草津温泉の湯畑」